を掛へて地をひく切て高く切て高くなれば後軍る
親討を主切て高くなれば死敵を踏敷て退
く事色ハ左うなれ掛ハ是も戦疲れて之ゆる
所ハ義光の陣ハ白鳥雲来なる武者二隊諸軍へ
蒐廻て備く新手と立回て指揮長の軍を突崩べく
引退くべき事色まて之ゆる伝之一隊二隊も左右
へ別れて惜て殿して指揮しるしを敵味方見て
備を乱して蒐ゆる味方ハ陣引ハ立ち引退く
義光色ハ楽ら悦んで義政を軍先陣ハ

進ハ奥州勢事ハ切て数万騎之手になりて
進て蒐ゆ抑此戦場ハ深沼小河溝堀元来多う
ける處ハ草山ハ続いて石塚谷陰深うければ
人馬と自由なるを沼を上ハ重て踏ひ蒐ゆ
ゆ行立の事色深田ハ這廻ハ後陣の馬武者之を
移して踏込ハ攻ゆる山形勢ハ元来七手ハ備
を立てハ道ハ防ゆ切處ハ切ゆ五十騎百騎宛
分ハ小旌を立て鉄備を新立て陣地を発ゆ
て後陣ハ譲て自を先ハ新手後ハ入替て